

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団DX化事業

自治体名

稚内地区消防事務組合

消防団名

豊富消防団

1 事業の目的

災害発生時、消防団員の招集はサイレンや防災無線を用いているが、管轄区域の全域をカバーすることはできず、出勤率低下の一因となっている。消防団アプリを実装し、災害時の消防団員招集及び動態管理、迅速な情報共有により消防団活動の効率化を図る。

2 事業内容

令和7年度に豊富消防団の全団員（スマートフォン所持者）を対象として、消防団アプリを実装し、円滑な出勤指令と出勤状況の把握を迅速に行い、各種災害情報等をデジタル化して消防団員の災害対応能力向上を図る。また、各種行事及び事務担当者の負担軽減と事務の効率化を推進する。

- ・ 団員のスマートフォンへの指令通知
- ・ 出勤状況等の動態管理
- ・ 災害現場位置、水利情報、画像等の災害情報共有
- ・ クラウド管理による事務連絡、各種資料等の情報共有

3 事業成果

▶アプリ導入に対してアンケート調査を行い、61%は利便性が向上、30%がメール・SNSでの運用と同等感じており、合わせて91%の消防団員が従来の連絡方法と同等以上と回答している。

▶酪農地区における新規班編成を取り進めており、市街地から離れた地区に居住する団員への招集・連絡体制の課題を解消することができた。

▶アプリ導入目的の一つである出勤率向上に関しては、運用開始から期間が短く、消防団の招集を必要とする火災が発生していないことから、火災出勤に対しては数値化することができていないが、令和7年8月に記録的大雨が発生し、水防活動のため市街地の消防団員に限定し、招集サイレンを用いずにアプリ単独の招集を行った。35名中33名が招集を認識することができ、即時に出勤可能な22名（66%）が出動した。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
アプリ導入	パーセント	90	96	・研修に参加できなかった団員に対して、個別で取扱い説明を実施している。
研修の実施	回数	4	4	
実動訓練	回数	2	2	

5 その他参考情報

